

視察報告書

| | | | |
|-------|--------------------------------------|----|------|
| 所属会派 | おかや未来研究室 | 氏名 | 藤森 弘 |
| 視察の名称 | 会派「おかや未来研究室」行政視察 | | |
| 日程 | 令和5年8月9日(水) 13:00~14:30 | | |
| 視察要点等 | 「柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)」によるスマートシティ見学 | | |

【概要】

千葉県柏市の「柏の葉スマートシティ構想」の中核施設である「ゲートスクエア」(首都圏新都市鉄道つくばエクスプレス・柏の葉キャンパス駅周辺施設)内にある「柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK)」を訪問。同センター主催の周辺施設案内ツアーに参加して説明を受けた。

【内容】

「柏の葉スマートシティ構想」とは、公・民・学の連携と共創によって、少子高齢化問題や環境問題などを解決する世界最先端の街づくりプランのこと。

人と地球にやさしく災害にも強い街「環境共生都市」、すべての世代が健やかに安心して暮らせる街「健康長寿都市」、日本と地域の新しい活力となる成長を育む「新産業創造都市」の3つを重点テーマとして掲げている。

「ゲートスクエア」には、東京大学や千葉大学のサテライトキャンパス、大型商業施設「ららポート柏の葉」、大規模マンション、ホテル、レストラン、エネルギー管理システム、起業家育成オフィステナント「KOIL」、まちの健康管理研究所「あ・し・た」などがあり、このエリアだけで近い将来に人口2万6千人を支える世界最先端都市を建設する計画だという。

今回は、共用の3Dプリンターやレーザーカッターなどを備えた起業家育成オフィス「KOIL」、健康づくり拠点で「あるく」・「しゃべる」・「たべる」の頭文字を取って命名された健康管理研究所「あ・し・た」、電気エネルギーの消費量を「見える化」した管理システム棟などを中心に見学させてもらった。

柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK) は柏の葉キャンパス駅の目の前にあり、公共・民間・大学が連携してまちづくりに取り組むための拠点施設で、人と人の出会いと共創を促す打合せや待合せ場所として利用でき、地域の情報やイベントチラシ、まちに関わる専門書を備えている。まちづくりスクールやまちの交流会など誰でも参加できる企画も開催していた。今回の施設見学ツアーもその一環だという。

UDCKは、①新たなまちづくりに係る「学習・研究・提案」(シンクタンク)機能、②それをベースに「施策化・事業化」を企画・調整し、さらには「持続的運営」を支援するというまちづくりのプラットフォーム(コーディネーター)機能、さらには③それを市民や社会に対して発信し、参画を促す「情報発信」機能の3つを持つ。

これら3つの機能を軸に、新たなアイデアを生み、実践し、継続するという一連の流れを生みだしながら、次世代型のまちづくりを牽引する役割を担っているという。言わば、柏の葉スマートシティ建設の司令塔だ。

UDCKの運営に係わる基本方針としては、以下の5点が定められている。(UDCK要綱より)

- (1) 自治体、企業、大学、市民団体等(公民学)の連携による人材育成、会議、ワークショップ
- (2) 大学や研究機関の提案に基づく新規事業創出の拠点
- (3) 大学から市民への知の開示と連係
- (4) 柏の葉地区ならびにTX沿線の都市デザイン
- (5) まちづくりの進捗に応じた柔軟な組織運営

【感想】

岡谷市は適度の人口と土地面積を有する「コンパクトシティ」であり、「司令塔」次第では大变身できる基礎条件とポテンシャルを備えている。公・民・学の連携と共創を推進する新たな組織が必要だと感じた。